

Japanese Language Japanese Language 5

(留(留))

Yasuko OISHI · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

1 unit 前期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語(1)』)

Target) 留学生の日本語レベルが多様であることをふまえた上で、各人の日本語力の向上を目指す。具体的には、四技能のうち「読む」を導入として、「話す・聞く・書く」へ連携させ、より高度なコミュニケーション能力と日本人及び日本語をより深く理解するための日本語の知識を得ることを目的とする。

Outline) 大学生活における円滑なコミュニケーション能力をつけるために、表現力(語彙力, 文法力, 文章構成能力)をつける。読解演習を入り口とし、「読む」「話す」「聞く」「書く」のそれぞれの技能を伸ばすタスク(町・大学・各自のキャッチコピー作り等)を行う。

Keyword) 日本語読解能力, キーセンテンス・キーワード, コミュニケーション能力

Goal)

1. 各自の目標に従った能力を獲得する。
2. 自分の日本語力を把握し、必要な学習方法を獲得する。

Schedule)

1. 授業についてオリエンテーション, 受講者のレディネス(これまでの学習)やニーズの調査など
2. いろいろな文体を知る(読みのスキル, 文型・語彙の習得)-新聞記事①
3. 新聞記事①のトピックについて調査
4. いろいろな文体を知る(読みのスキル, 文型・語彙の習得)-新聞記事②
5. 新聞記事②のトピックについて調査
6. いろいろな文体を知る(読みのスキル, 文型・語彙の習得)-雑誌・週刊誌記事
7. 雑誌・週刊誌記事のトピックについて調査
8. いろいろな文体を知る(読みのスキル, 文型・語彙の習得)一般書
9. 一般書のトピックについて調査
10. メディアからキャッチコピー収集・発表
11. キャッチコピー作成①
12. キャッチコピー作成②
13. キャッチコピー作成③
14. キャッチコピー作成④
15. キャッチコピー作成⑤

16. 総括授業

Textbook) 随時プリントを配付

Evaluation Criteria) レポート, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

Re-evaluation) 無

Message) 日本で充実した留学生生活を送るために、自分にとって必要な日本語力を身につけましょう。そのために日本語の授業に積極的に取り組んでください。授業内容の詳細は、初回で説明するので、休まずに出席してください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220966>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ OISHI (+81-88-656-9875, oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 金曜日 9:30~ 12:00 但し事前の連絡があれば他の日時でも対応します。)